

第4回 東京2025デフリンピック開閉会式検討部会

1 演出委員会開催状況

区分	実施日	議題
第3回	2025年2月5日	● 開閉会式計画実施運営委託における演出家の関わり方 ● 開閉会式「演出」の方向性 ● 開閉会式検討スケジュール（案）について
第4回	2025年3月5日	● デファスリートヒアリング
第5回	2025年3月10日	● コンテンツのアイデアについて ● オーディションについて
第6回	2025年3月18日	● 演出委員会開催状況について ● 演出テーマ・コンセプトについて ● 開会式及び閉会式の位置づけと式典プログラム ● 開閉会式における各プログラムの検討の方向性 ● 今後のスケジュールについて ● 2025年度執行体制について

2 演出テーマ・コンセプトについて

【 日本初開催の東京2025デフリンピックにふさわしい式典をつくっていくために。 】

きこえない、きこえにくい人をはじめとして、誰れしもが楽しめる式典とするとともに、開催地である東京の魅力発信につながるよう、式典の演出にあたり3つのテーマを掲げました。

掲げたテーマをベースにアーティスティックプログラムなどを創作していきます。

コンセプト		テーマ（案）	コンテンツ
コミュニケーションを楽しもう	テーマ1 「ろう者の文化を共有する。」 手話言語 × 目で感じる“音”と“おと”	ろう者の文化の根源でもある「手話言語」。 手話の3要素である「手の形」、「動き」、「表情・感情」を、身体と光と音（振動）で表現	3つのテーマをベースに、オープニングプログラム、アーティスティックプログラムなどの演出プランを創作
	テーマ2 「東京・日本らしさを発信する。」 文化（歴史）× デジタル	日本のお祭りや盆踊りのお囃子で使われる「和太鼓」や歌舞伎で使われる「幕」。 これらの舞台芸術を支える演出小道具に、デジタル技術を加え、新たな演出へ	
	テーマ3 「共生社会の実現につなげる。」 リスペクト × 共創	スポーツマンシップにも共通する「リスペクト・互いの尊重」。 パフォーマー達が「きこえない」、「きこえる」などの個々人の違いを互いに知り、尊重し、それぞれの個性を活かして共に表現	

3 開会式及び閉会式の位置づけと式典プログラム

開閉会式の
位置づけ

100年目を迎えるデフリンピックの魅力やその価値を伝え、共生社会の実現につなげていく。

日本ではじめて開催されるデフリンピック。フランスではじめて開催されてから100年。
私たちは、これを契機と捉え、デフスポーツだからできることにこだわり、前例のない新しい大会をつくることに挑戦したいと考えています。
大会の“始まり”と“終わり”に行う式典は、選手や観客が一同に会し、その時間と空間を共有する唯一の場であり、東京2025デフリンピックが目指すビジョンを発信する、言わば大会の象徴となるものです。
私たちは、東京2025デフリンピックの開閉会式において、デフスポーツが持つ魅力を伝え、誰もがアスリートの活躍を間近で感ずることのできる、世界中のデフアスリート達にとって、次の100年に向けたの新しい大会の“はじまり”とするともに、全ての人が輝くインクルーシブな街・東京の実現に繋げていきます。

【開会式】 令和 7 (2025)年11月15日（土）

きこえない、きこえにくい、きこえる人達のパフォーマンス、光、音（振動）による演出で、選手達を歓迎するとともに、観客にろう文化やデフスポーツの魅力を伝え、100周年を迎える大会の始まりを祝います。	
プログラム	所要時間（想定）
オープニング	5分
選手団入場行進（70～80か国・地域）	60分
開会スピーチ	20分
開会宣言	
ICSD旗入場／掲揚	15分
炬火入場／炬火点火	
選手／役員宣誓	10分
国旗掲揚／国歌演奏	
アーティスティックプログラム	30分
エンディング	10分

【閉会式】 令和 7 (2025)年11月26日（水）

大会期間中に熱戦を繰り広げた選手達と共に、会場全体でその感動を分かち合い、それまでの努力を労うとともに、東京大会での成果を共有し、次の大会へと引き継いでいきます。	
プログラム	所要時間（想定）
オープニング	5分
選手団入場行進（70～80か国・地域）	40分
閉会スピーチ	20分
閉会宣言	
ICSD旗降納	15分
ICSD旗返還	
アーティスティックプログラム	10分

4 開閉会式における各プログラムの検討の方向性

【開会式】 令和 7 (2025) 年11月15日 (土)

オープニング プログラム

これから始まる100年を記念する大会に対し、式典会場全体で期待と盛り上がりが高まるよう場をつくります。

選手団 入場行進

世界中から集う選手達を会場全体で歓迎するとともに、行進中のデフアスリートと観客が一体となって楽しめる空間をつくります。

炬火リレー

日本全国の選手達に対するエール（想い）を束ね、その想いを選手全体で共有していきます。

アーティスト ティック プログラム

3つのテーマとコンセプトをベースに、これまでにない新しいパフォーマンスを創作し、世界に発信していきます。

エンディング プログラム

これから始まる競技に対する選手達の気持ちを高めていけるよう、パフォーマーや観客など会場全体から選手へのエールを贈ります。

【閉会式】 令和 7 (2025) 年11月26日 (水)

オープニング プログラム

閉会式の開始にあたって、選手達や大会運営に参加したボランティアなどに対して賞賛の意を表すとともに、会場全体が感動の空間となるよう場をつくります。

選手団 入場行進

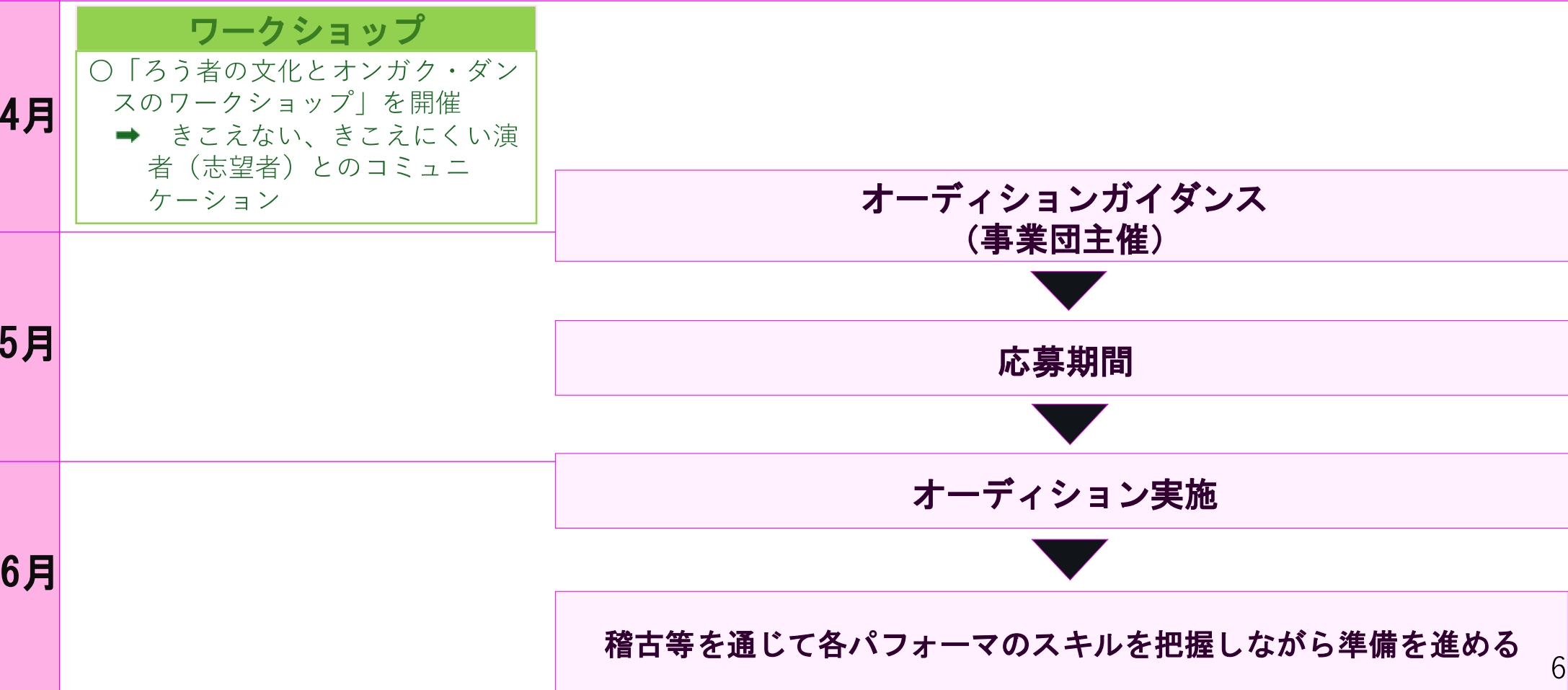
入場行進を通じて、大会期間中の選手達の活躍・がんばりを振り返るとともに、行進するデフアスリート一人ひとりが、リラックス、楽しさ、自由さを感じられるものとしていきます。

アーティスト ティックプロ グラム

大会期間中に熱戦を繰り広げた選手達と共に、会場全体でその感動を分かち合い、それまでの努力を労うとともに、更なる活躍への期待を託し、次の大会へと引き継いでいきます。

5 今後のスケジュールについて

- きこえない、きこえにくいパフォーマーを対象としたワークショップ」を開催し、舞台に関わる演者のスキル等を把握
- 開閉会式準備運営業務の受託事業者決定後、速やかに、現状把握と並行して出演者確保に向けた取組を開始



6 2025年度執行体制

「部会」及び「演出委員会」を来年度継続設置し、随時、検討状況を共有のうえ、関係者間で確認

《東京2025デフリンピック開閉会式検討部会》

全日本ろうあ連盟

東京都
スポーツ推進本部

東京都スポーツ文化事業団
デフリンピック準備運営本部

《委託者別途指定「演出家チーム」》

演出家（近藤氏・大橋氏）

《受託者指定》

業務統括責任者

業務責任者

警備責任者/警備副責任者

業務担当者※

出演者

プランナー、照明・音響・映像監督等

音響・照明等運営スタッフ

想定出演者等
（オープニング・アーティスティック
・エンディングプログラム）

《東京2025デフリンピック開閉会式準備運営業務受託事業者》